

# Net Work Meeting in KAGOSHIMA

テーマ 「ゆくいきやんせ〜467〜」  
よくろんな

第31回 ネットワークミーティング in 鹿児島

## NWM新聞



作成者: 第31回ネットワークミーティング in 鹿児島 実行委員会  
発行元: カトリック青年連絡協議会 <http://catholicyouth.jp/>

### 実行委員長ご挨拶

2016年9月24日、25日に国民宿舎レインボー桜島とザビエル教会でNWM in 鹿児島が行われ、全国各地から108名の方々に参加していただきました。

今回のテーマは、「ゆくいきやんせ〜467〜」でした。「ゆくいきやんせ」とは鹿児島弁で「ゆっくり休みにきなさい」という意味で、参加者の皆さんに雄大な桜島のもと、日頃の疲れをいやしてもらおうと思いを込めました。また、「467」とは聖フランシスコ・ザビエルが鹿児島にキリスト教を伝えてから467年目にあたるこ

実行委員長

武川 眞義

の年に、鹿児島の地に教会の未来を支える青年たちが集うといこで、サブタイトルとしました。

1日目のプログラムでは、自分がイエス様と初めて出会った場所に付箋を貼り、自分がどのようにイエス様を感じたのかをわかちあいました。初めは真っ白だった日本地図がどんどん埋まっていき、皆が色々な場所でイエス様と出会ったとわかりました。

2日目のプログラムでは、鹿児島市街地に戻り、ザビエル教会までの徒歩巡礼を行いました。ザビエル上陸記念碑前で小劇「ヤジロウ〜初めてキリスト教徒になった日本人」を上映した後、スタッフお手製のクロスワードクイズを解きながら再び徒歩巡礼を続けました。皆さん、答えの「敬天愛人」を導き出すことができていたようで、良かったです。ザビエル教会での感謝のミサを捧げ、無事にNWMを終えることができました。ミサ後は、信徒の方々の手作りの鶏飯を食べながら、最後のひとときを楽しみました。

今回のNWMでは、私を含めて20名以上が初参加でした。私も、全国の青年が様々な活動を行っていることを知ることができました。また、同じ信仰を持つ人々と出会い、わかちあい、仲良くなれるきっかけになりました。

最後になりましたが、このNWMの開催にあたり、多くの修道会の皆様、鹿児島教区信徒の皆様、そして何より参加して下さった日本各地の青年の皆さまに、たくさんのご協力とお祈りをいただくことができました。本当にありがとうございました。

初参加の私にできたこと。

ネットワークミーティング(NWM)とは…  
カトリックの青年、青年の活動を支えている信徒・修道者・司祭が自由に集い、そこで今抱えている問題や信仰のことなどをわかちあい、交流する場であるとともに、いろいろな地域で活動している青年と出会い、情報交換を行う場として、年2回、教区持ち回りで開催されています。



2017

3月発行



ひと  
わっぜか人たっがかごんまへ  
き  
来っくいやった!  
(すごい人達が鹿児島へ来てくれた!)

神に感謝!!

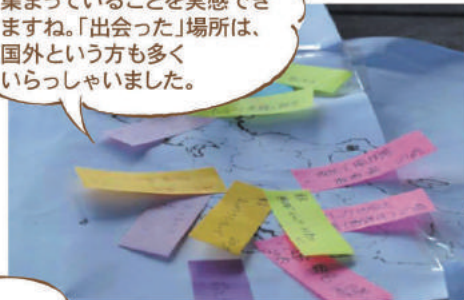


ゆ  
「ゆくいきやんせ〜467〜」

NWM当日  
ここレインボー桜島から  
新たな物語が始まる...



地図を使うと、日本各地から  
集まっていることを実感でき  
ますね。「出会った」場所は、  
国外という方も多く  
いらっしゃいました。



フェリーで  
黄昏れてる俺ら  
カッコよくな?



実行委員長の  
武川真義です!  
(NWM初参加)  
いっぱい、いっぱいっす!!

足湯最高!  
鹿児島最高!  
みんな最高!



プログラム①後のフリータイムでは、足湯に  
浸かってゆっくりしたり、友達と遊んだり。  
皆さん、のんびりした時間を過ごしました!

プログラム①  
皆で日本地図を使って、  
自己紹介!自分がイエス様と  
「出会った」ときについて、  
わかちあいました。







心をひとつにして、夕の祈り。



夕食は、鹿児島の美味しい郷土料理が盛りだくさん！  
レインボー桜島の方々、ありがとうございました。



楽しくて  
酔っちゃったあ



各地のお土産もたくさん頂きました！  
これだけあるとお店できそう！



呑んべえにはたまらない焼酎の数々！  
圧巻です！



たくさんの飲み物の寄付。本当に感謝です！



足湯～  
気持ちええ～



ザビエル教会聖堂で、心をひとつに、感謝のミサを捧げました。



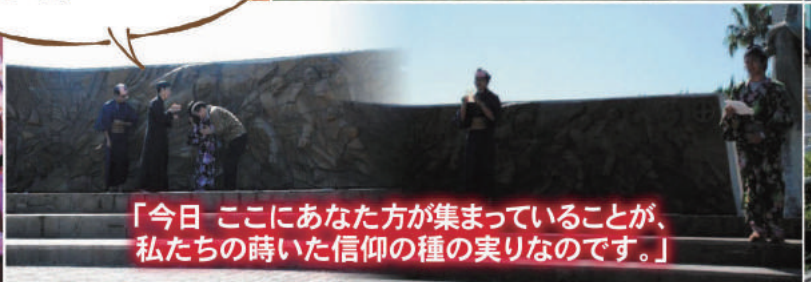
朝のラジオ体操（鹿児島弁）。皆、朝から元気です！



スタッフ脚本・出演の小劇「ヤジロウ ～初めてキリスト教徒になった日本人」。  
（左）鹿児島の人々に洗礼を授けるザビエル  
（右）ヤジロウから青年へのメッセージ。



フェリーを降りて、徒歩巡礼スタート！9月下旬とはいえ、まだまだ暑かったです。



「今日ここにあなた方が集まっていることが、私たちの蒔いた信仰の種の実りなのです。」



木陰でひと休みしながら、クロスワードの答えを考えます。少し、難しすぎたでしょうか…？笑



柄にもねえな！泣くなよ！嬉しいじゃねーか！

宮崎から会いに来てくれたなんて嬉しいよ！グッス



レイちゃん！おかわり！



奄美の料理「鶏飯」。美味しかったです！  
谷山教会の方々、ありがとうございました。





## 大阪教区 金子 花菜美

今回のNWMは鹿児島ということで、自然に溢れた、とても素敵な環境の中でたくさん人の温かさに触れることが出来ました。私が思う、NWMの魅力は本当に毎回新たな出会いとたくさんの気付きがあること。その上で様々な人との関わりや、分かち合いを重ねることで、その人の考え、その人の生き方の中にいろんな神さまの姿や働きかけが発見できるのです。今回も、みんな神さま

の子なんだなあ〜と微笑ましくなる瞬間がたくさんありました。笑1人で神さまと向き合う時間も大切ですが、同じ神さまを信じている仲間同士でそれぞれの神様との出会いをこのNWMでは分かち合えることが出来る場があり、私たちにとってとても大切な時間となっていると感じています。また今回は、鹿児島ならではの環境、おもてなしやフランススコザビエルの事に関してもう一度考えられる機会もあり、ゆっくりとした時間を過ごすことが出来ました。この場を用意してくださったスタッフの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。これからもNWMの魅力が伝えられ続けられていくことを願っています。今回もとっても楽しかったです！



## 東京教区 小林 莉紗

私は前回2月に高松教区で行われた第30回NWMが初参加だったので、今回が2回目の参加となりました。鹿児島自体に行くことは初めてでしたし、フェリーに乗ることも初めてだったので、会場の桜島に無事到着した時はなんだかホッとした気分になりました。1日目は、班ごとに分かれて「私がイエス様と出会った場所」を探すために、配布された大きな日本地図に付箋を貼り

その体験について分かち合いを行いました。全国バラバラの場所から集まったメンバーだったので、どれだけの場所が挙がるかな、と考えていましたが日本地図の枠内だけではおさまりきらず、海を越えた海外にも付箋は貼られていたので、それだけ私たちは色々なところでイエス様と出会っているんだな、と実感できました。2日目は桜島から鹿児島本土へ移動し、ザビエル上陸記念碑前から鹿児島教区の司教座である鹿児島ザビエルカテドラル教会までの巡礼を行いました。まず、ザビエル上陸記念碑前でスタッフたちによる日本最初のキリスト教信者とされるヤジロウを題材とした劇を見た後、クロスワードを解きながら教会に向かいました。クロスワードの問題は、一般的なものから「〇〇を鹿児島弁でいうと何になる？」といった鹿児島らしさがちりばめられたものまで様々で面白かったです。さて、今回のNWMのテーマは「ゆくいきやんせ〜467(よくろんな)〜」でした。これはマタイによる福音書11章28節の「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい」を鹿児島弁風に「ゆっくり来なさい」にアレンジしたものだそうです。今回のNWMではこのテーマどおり「ゆくい」できたと思いますし、沢山の楽しい思い出を作ることができました。最後になりましたが、準備してくださったスタッフの皆様、そして参加した沢山の仲間達には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！



## 広島教区 益田 なお

広島から車で7時間の長旅を終え、フェリーに乗って桜島へ。今回はどんなNWMなのだろう。心弾ませながら向かった会場の入り口では、笑顔で手を振る懐かしい顔。またここに帰ってきたんだ！初めて行く場所にも関わらず、そう思える仲間がいるという喜びを感じながら、私のNWM in 鹿児島は始まりました。「ゆくいきやんせ〜467〜」というテーマの通り、とてもゆっくりできるNWMでした。特に、1日目のフリータイム。私は足湯に浸かり、一緒に居た人達と話をし、のんびりと過ごしました。プログラム序盤だった為、初めて話す人も多くいましたが、皆各々に喋りたい事を喋り、時には悩みを打ち明けたり、愚痴を言ったり。最初から自分をさらけ出せるのは、私達がキリストの名の下に集まっているから、無意識の内に相手の中に神様を見ているからではないか、と感じます。分かち合いの中で出た「神様と出会ったのはいつ？」という質問。私は、ここ！という時を見つける事はできませんでした。しかし、日々の生活の中で感じる、ああ、神様そこにいたの！という瞬間を大切にしよう。そう思わせてくれたNWMでした。



## 京都教区 新田 理紗子

今回、NWM in 鹿児島に参加させていただいて、とてもゆったりとした素敵な時間を過ごすことができました。2回目の参加になった今回は、前より緊張も少なく、余裕のあるスケジュールの中で、たくさんの人と話をしたり、遊んだり、交流を持つことが出来ました。1日目には、猫と戯れながら、足湯に浸かりながら、食事をしながら、交流会で。2日目には、フェリーで、徒歩巡礼をしながら。まだまだ話し足りないし、たくさんの人とも話したかったけど、それは次へお預けですね。今回のプログラムは鹿児島という土地を生かしたとても楽しい内容で、考えさせられることもたくさんありました。自分の信仰の原点というものはあまり気にしたこともなかったし、神様といつ会ったと聞かれても全然思い出せなくて、本当に出会ったことがあるのかというのわからなくて、すごく悩みました。また、日本のカトリック信仰の原点である鹿児島の地で考えることが出来たということは、私の人生経験の上でも、信者として生きる中でもとても重要な時間になったと思います。これからも、日常生活で、神様とたくさん出会えたらと思うし、出会ったことに気づくことが出来たらいいなと思います。





# 想あれこれ



## 札幌教区 武川 こむぎ

今回の鹿児島でのNWMは「ゆくいきやんせ」というテーマの通り非常にゆったりとしたNWMでした。私は札幌教区からの参加でしたのでスケジュールの都合上オープニングには出ることができなかったのですが、班ごとに分かれ行われた最初のプログラムで班のみんなと打ち解けることができました。

その最初のプログラムとは同じ班のカトリックの青年や、カトリックと関わって生きてきた青年の人生のターニングポイントを日本地図に刻んでいくというものでした。そこには自分では経験したことのないような貴重な経験が書かれていたり、また逆に自分のターニングポイントと重なっていたりと、複数人が集まったからこそできる珍しい形で人生の振り返りが行われました。また自分の人生を”場所“というものを意識して振り返るいう貴重な体験ができ、改めて自分の人生がどういったものであるかを考えることができました。その後のプログラムは班の仲間だけではなくNWMの参加者同士で鹿児島の暖かい気候の中ゆっくりと交流を深めることができ、NWMの目的の一つである情報交換と交流という目的を果たせた気がします。日本の信仰の原点といえる鹿児島という土地で自分の信仰の足跡をゆっくりと辿り思い返すことができたこのNWMは私にとって非常に良い経験となりました。今回出会ってくださったみなさん、再会してくださったみなさん本当にありがとうございました！



## 高松教区 <sup>よしみ</sup> 嘉 凜太郎

今回のNWM in鹿児島でのテーマの「ゆくいきやんせ」とあるとおり、食事、温泉、プログラムすべてがゆっくりとした雰囲気、癒されるひと時でした。足湯に浸かりながらみんなでみかんを分け合って食べた時間は本当にまったりとしていました。(笑) 今回の

NWMで私が感じたことは、「私の原点」ということです。それは2日目のプログラムの前にあったフランシスコ・ザビエルとヤジロウの劇を見ていた時に感じたことですが、改めてその歴史を知り「ああここから始まったのだ」と素直に感じ、新たな発見をしたような気持ちになりました。また1日目のプログラムでは、班ごとにそれぞれの歩みを分かち合いながら一枚の日本地図に記し、自分の信仰の原点を振り返ってきたのですが、劇を見ると、「467年前にこの地から始まり、つながって今私たちがその地にいる。」と思うと感慨深いものがありました。そして劇中にあった「これからはあなた方若者に託します。」という言葉聞き、467年前から続く日本の教会のこれからの歴史をつくるのはここにいる私たちなのだと思います。新しい気づきがあり、癒される時間をすごし、また沢山の仲間たちと出会えた今回のNWMに参加できてよかったです。スタッフの方々、参加者の皆さん、そしてたくさんのお恵みを下さった神様に感謝です。



## 福岡教区 有吉 優里

今回は友人に誘ってもらい、同じ九州にいつかあまり会うことのできなかった鹿児島の青年たちに出会える喜びに胸を躍らせ鹿児島へ向かいました。数えてみるとNWMに参加するのは3年半ぶり、知らない青年がたくさんいるだろうな、という不安もたくさんありました。

それでも、神様との出会いを振り返ったり、温泉につかったり、巡礼したり…とゆったりとしたプログラムを通し自然と打ち解けていき、「ああ、やっぱりNWMっていいな」と実感しました。全国の青年と交流する中で、時には熱い教区に刺激を受け、また時には同じ悩みを分かち合い、わたしもがんばろう!と元気をもらった気がします。国民宿舎、交流会、カテドラルでのご飯、スタッフの方々など、鹿児島のみなさんのあたたかさに触れる2日間でした。(鹿児島弁は難しかったです！笑ありがとうございました。



## 長崎教区 橋本 裕紀

今回、桜島という素晴らしい自然に囲まれたネットワークミーティングは、足湯に浸かりながらの同世代との交流でのんびりゆったりとしたものとなりました。また、班メンバーとの「自分の信仰の原点」について分かち合ったときは、僕が青年会活動を始めたころの

ことを思い出して分かち合えたので、改めて「原点」を振り返るいい機会となりました。そのほか、交流会では焼酎のオンパレードとなったり、2日目のプログラムではヤジロウに関する寸劇を見たり、感謝ミサの後には鶏飯を頂いたり、鹿児島色たっぷりのネットワークミーティングでした。楽しかったです!!





# スタッフ感想あれこれ



## 鹿児島教区 長 秀樹

「こんにちはー! どうぞ受付は2階です! ようこそ!」末吉神父様と2人で案内をしていました。続々と集まってくる青年達。見た顔、知らない顔、SNSだけで知ってる顔。様々な出身地からここ鹿児島へ集合しました。

2日ないし3日間共に過ごす仲間達です。みな顔を合わすはずいぶん会っていないはずなのに会話が弾み、距離も時間も関係なくなっていました。そんな様子を見ながら、「ああこれが信仰の上にあるつながりなんだなあ」と思っていました。そしてプログラムが進むにつれてさらにどんどん、皆も打ち解け合い、新しい仲間を作っていく。とても心地よい空間にすることができて幸せな気分になりました。

今回スタッフも初参加の人が多くて当初大丈夫なのかと心配していました。なにせ、教区のイベントには参加したことあるけど、いきなり全国のイベントだからかなりハードルが上がってしまいます。人数も多いし、不慣れだからハブニング時の対応の仕方が分からない、それに知っている青年が少ないなどハンデがある中でスタートした実行委員会。

1日目のわかちあい、スタッフが内容の趣旨を把握していなければならなかったのですが、ほんやりとしか把握していなかったため? 少し意図がありましたが、他のグループとは少し違う方向だったかもしれません。自己紹介代わりに出身地の有名人や特産物などを上げてもらいながら、イエス様を感じられた場所はどこかを上げてもらいました。その中でそれぞれのエピソードを聞くことができました。実に皆、素晴らしくてよい体験をしているなあと思いました。特にウチの班のプラザーは車を運転中にロザリオを唱える癖があってその時にイエス様を見る機会にあったのだとか。ぞくぞくしました。分かち合いを途中で止めたくなかったので時間が押しちゃって皆さんには迷惑をかけてしまいました。おかげで濃い内容になったかと思えます。さらにその恩恵ですれ違うはずだった中高生達とも交わることができたので精霊が働いたのかなと思います。その夜は夕食もとっても美味しく、鹿児島を感じてもらえる献立だったので皆の笑顔が満足げな様子で印象的でした。その後、皆深夜まで飲み明かし友情が深まったと思いました。

2日目に至っては晴天にめぐまれ、そして連合壮年会で活躍されている増田さん達に力添えいただいて荷物をトラックで教会まで運んで頂いたのは非常に助かりました。皆の足取りも軽く、明るく楽しんでもらえたような気がしています。劇も本当に直前までほとんど練習などしていくなで2日前くらいから台詞あわせをして当初は音声を流して当て振りをしようとしていたのですが、ズレた時のことを考え肉声でやった方が臨場感がでるかもということで急遽台詞を覚えて発声しました。これもすごくよかったと思うし、成功した一つだと思います。皆の心にも何か届いた気がしています。徒歩巡礼しながらのクロスワードも絆を深めてくれる一つで楽しく巡礼できました。荘厳なミサの後、昼食はザビエル教会で鶏飯でしたが、谷山教会のご婦人方に協力していただいてとても感謝しました。あたたか迎えてくださり本当に感激しました。運動した分鶏飯がさらに美味しく感じました。「ありがとうございますー」「ごちそうさまでした!」と皆の気持ちのいいお礼も清々しく思いました。

脈々と受け継がれる新世代の青年たちと交わることができたことは、自分にとって大きいものがあった気がします。年齢・性別・出身を超えて交流できる場所がネットワークミーティングだし、青年達の特権であると思えます。このような体験がもっと信徒レベルにまで広がって老若男女すべての人が幸せに感じ、互いの存在を認め合える教会、共同体になってほしいものだと思います。世界平和へのきっかけがここにあるような気がします。次の開催地の青年達へバトンをつなぎます。

心配をよそに鹿児島の青年達はたくましく慣れないながらも良くやりましたと言いたい! 一人ひとりが本当に素晴らしかった!



## 鹿児島教区 吉川 百合子

初めての参加&スタッフでわからないことだらけでしたが、皆で試行錯誤しながら協力し合い、充実した2日間を過ごすことができました。

参加者それぞれのキリストとの出会いを分かち合い、ミサで心をつなげて祈り、キリストを信じる同世代の仲間・家族がこんなに沢山いるんだということを実感した、本当に感慨深い時間でした。

NWMで感じた思いを大切に、これからも日々の生活の中で自身の信仰を深めていきたいと思えます。



## 鹿児島教区 伊集院 愛希子

今回が私にとって初めてのNWMで、スタッフとして参加するにあたってわからないことも多く、運営にはあまり貢献できていなかったという反省点もありました。しかし、全国各地からの参加者のみなさんと信仰について考えや体験を共有することができ、貴重な経験となりました。

## あ と が き

カトリック鹿児島教区連合青年会 代表 岩崎 信幸

2012年のNWMin東京に初めて参加してから5年。青年の少ない鹿児島で、ときに1人になりながら青年活動を続けてきました。その鹿児島でNWMを開催できたことは、私にとって本当に大きな喜びとなりました。「福音上陸の地」鹿児島で、自分の信仰の原点に触れていただけたのではないのでしょうか。これからも続くNWMで、多くの青年が神さまと出会い、仲間と出会い、自分の信仰を深めていってもらえたら…と思っています。ありがとうございました。